

7. GTR
マガジン

Products R type S

1995/002 (5/1) 発行

TRY FORCE ZELDA トライフォース ゼルダ ¥57,000 (9.0JJ×17)

走りスタイルの融合はチューニングの大前提となる

TRIAL



GTRのチューニングを考える時、走りを中心としたハード面のチューニング、スタイリングを中心にしたソフト面のチューニングのふたつがある、とトライアルは考える。ホイールは、そのハードにもソフトにも欠かせないアイテムだ。ではトライアルが提案する「トライフォース・ゼルダ」とは。

まず目を引くのは、奥行き感のあるリムと、大きな開口部を持たせた斬新な3本スポークデザインだろう。一見するとそれは、ファッショニ性を重視しているかにも思えるが、走り出すとそれは、ブレーキ冷却性能

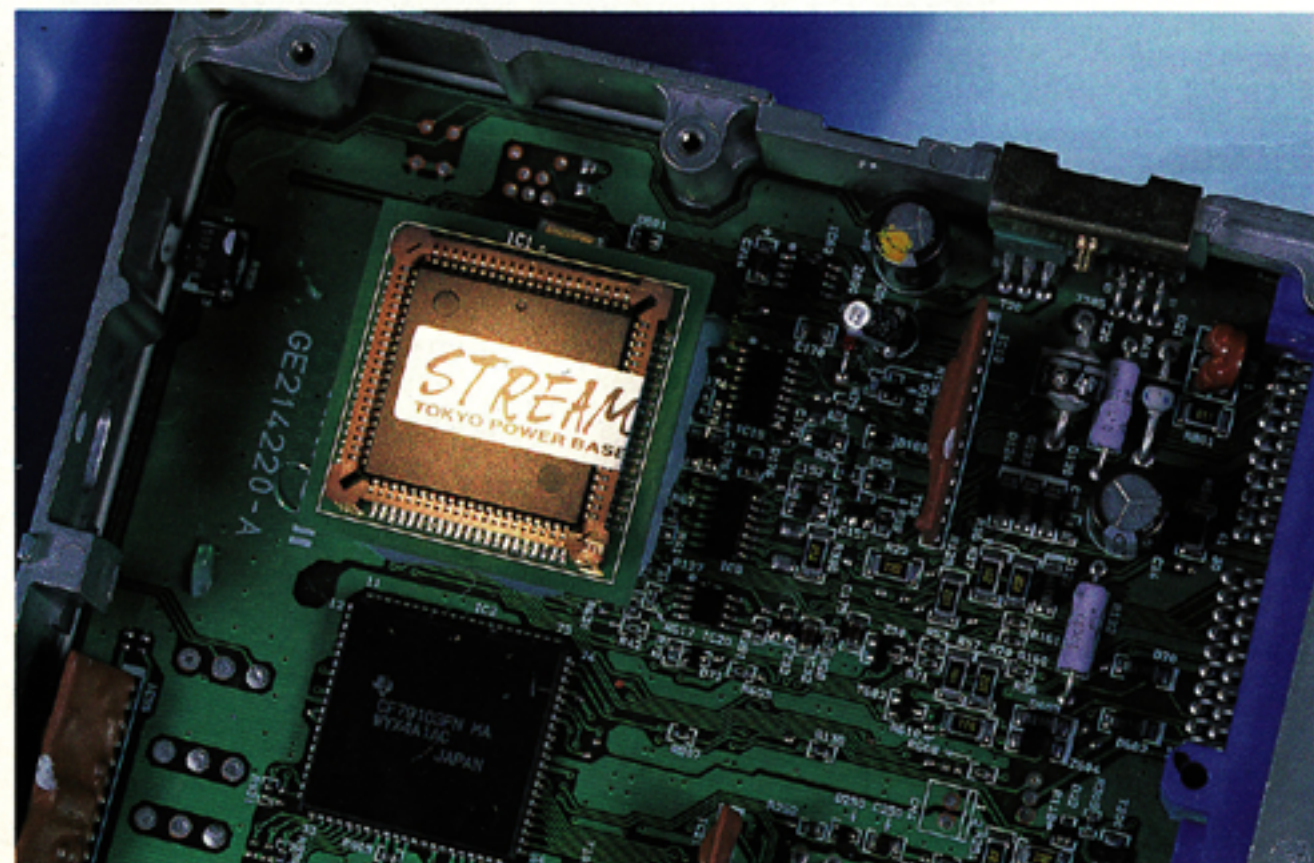
のための大きな開口部であり、2ピース構造としているのも、高い剛性の確保と軽量化のバランスから選択されたものだと思はれる。スポークに刻まれた「TRIAL」のロゴ、レース用ホイールを連想させるセンターキャップに洒落た気を感じる。まさに機能性を重視しながら、随所でスパイスを効かせたホイールに仕上がっている。これこそハードもソフトも、チューニングを知り尽くしたトライアルならではのホイールだ。

●トライアルプロジェクト
0722・54・9777

SPECIAL COMPUTER BCNR33専用CPU ¥68,000~128,000

オリジナルCPUでゼロヨン/最高仕様も思いのままになる

STREAM



既製のコンピュータじゃ物足りない、自分の好みやチューニングレベルに合ったコンピュータが欲しい、というユーザーも多いはずだ。そんなユーザーひとりひとりの声に応えてくれるのがストリームのスペシャル・コンピュータだ。R32はもちろん、R33 GTR用もラインナップに加わった。コンピュータのチューニング内容は3つのステップに大別される。通称ポケットマネー・コンピュータは、チューニングのエン트리ューザー向きで、ブースト圧0・8 kg/cm²まで対応。バージョンはプー

スト圧・0 kg/cm²、バージョン2はブースト圧・2 kg/cm²というのが大体の目安だ。ここまでのレベルなら、エンジン本体・タービンはノーマルのまま、車検対応マフラー程度の装備で100%の効果を感じさせてくれる。さらにバージョン以上は、ユーザーの仕様に合わせてセッティングを行なってくれる。もちろん、さらなるパワーアップを目指すオリジナルメニューの相談にも応じてくれる。

●ストリーム

03・5607・2340 (コンピ
ュータ専用ダイヤル)